

# 教科「情報」を含むアイテムバンク式CBT による大学入試の試み

2024年12月7日（土）

13：00～17：00

ハイブリッド開催

アフラックホールUEC + ライブ配信

主催 国立大学法人電気通信大学

後援 独立行政法人大学入試センター

参加費 無料

参考申込締切 12月6日（金）~~11月29日（金）~~

【※前日まで締切延長※】

<https://forms.gle/AURNBZe355MeE7Dh7>



# 委託事業の概要

大学入学者選抜におけるCBT（Computer-based Testing）化の推進については、大学入試のあり方に関する検討会議「提言」（令和3年7月8日）において、多様な方法での出題、採点や試験実施の効率化、成績提供の迅速化、試験の複数回実施など様々なメリットが示されている一方で、大学入学共通テストへの導入については、（1）全国的に均質で質の高い受験環境の確保、（2）トラブルが生じた場合の対応体制の構築、（3）新しい試験のあり方に対する受験者を含めた社会全体の理解などの課題の解決が必要であるとされています。

本事業は、こうした背景を踏まえ、大学入学者選抜に関する専門的・実証的な研究能力を有する機関に委託して、独立行政法人大学入試センターからの協力を得ながら、大学入学者選抜におけるCBTによる効果的な試験の実施方法等について検討を行うとともに、高い実施水準が求められる試験のCBTによる実施に向けた取組等を推進するものです。

文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業  
（個別大学の入学者選抜等におけるCBTの活用）（令和4年度～）  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/senbatsu/1397824\\_00006.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senbatsu/1397824_00006.htm)

## シンポジウムの趣旨

本事業では、電気通信大学において「情報」、「数学」、「非認知能力」のアイテムバンク（問題バンク）を構築し、CBT(Computer Based Testing)を用いて2024年度に学校推薦型選抜および総合型選抜の入試を実施し、入試では用いていませんが「物理」「英語」のアイテムバンクも構築してきました。本事業におけるCBTを用いた入試の特徴は以下の通りです。

- ①CBTの実施や運営に関する世界標準（ISO/IEC 2007, JIS X 7221）に従い、IRT(Item Response Theory)を用いた問題バンク方式を採用します。世界最高精度の測定精度を持つテスト構成技術を持つ最先端人工知能搭載システムを開発します。
- ②日本で初めて「情報」を含むCBT入試を総合型選抜、学校推薦型選抜で、実施し、1. 実際のプログラミング環境でプログラムを編集・実行しながら解答を求める問題、2. データ解析ツールを用いて実際のデータを分析しながら解答を求める問題など、従来の紙による試験や口頭試験だけでは測定ができなかった実践的な力を評価できるシステムを用います。
- ③プログラミング問題やデータ解析問題の受検者の実行しエラーを表示するなどの試行錯誤の解答プロセスも保存され、自動採点の評価に加味できるようにします。

本シンポジウムでは、本事業におけるCBT入試の実施方法や課題と今後、CBT活用連携協定における連携大学の現在のCBT入試について報告・議論します。

## プログラム

- 13:00 開会挨拶 電気通信大学 田野 俊一 学長
- 13:10 1. 電通大CBT入試の報告  
電気通信大学 植野 真臣 教授
- 14:10 2. 電通大のCBT入試への期待と課題【パネルディスカッション】  
公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構 仁田 善雄 理事 学術顧問  
早稲田大学 教育・総合科学学術院 澤木 泰代 教授  
長崎大学 教育開発推進機構 アドミッションセンター 吉村 宰 教授  
電気通信大学 植野 真臣 教授
- 15:20 3. CBT活用連携協定における連携大学の現在のCBT入試  
①佐賀大学 西郡 大 教授・アドミッションセンター長  
②神田外語大学 長田 厚樹 事務局長補佐  
③独立行政法人大学入試センター 寺尾 尚大 准教授
- 16:50 閉会挨拶 電気通信大学 成見 哲 副学長  
17:00 終了

## 会場

国立大学法人電気通信大学 アフラックホールUEC  
住所：〒182-8585  
東京都調布市調布ヶ丘一丁目5番地1

